

令和元年度 第4回日本脊椎脊髄病学会モニタリング委員会議事録

日時：令和2年1月31日 19:00～21:00

会場：ステーションカンファレンス東京 402

参加者（21名）；松山幸弘委員長 谷口慎一郎 重松英樹 今釜史郎 山本直也 高橋雅人 岩崎博 田所伸朗 川端茂徳 和田簡一郎 山田圭 寒竹司 船場真裕 藤原靖 安田明正 吉田剛各委員 安藤宗治 谷俊一アドバイザー 後迫宏紀 小林和克 橋本淳 オブザーバー

議題1，Br(E)-MsEPのアラームポイント策定

各施設のTP症例15例の検討を行った。

議題2，多施設研究進捗状況

WG主導の研究活動、論文化の重要性について松山委員長より説明があった。

6名の各委員から、WG関連研究の進捗状況報告があった。

議題3，JSSRモニタリング認定医制度

川端委員より下記説明がありJSSR理事会での承認が得られれば2020年5月より準備を進めることとなった。

- ・JSSR期間中に、脊椎脊髄病研修コースの講義受講（4時間） 2021年春から
- ・JSSRハンズオンセミナー 2020年度秋から
- ・手術室見学3時間、講義3時間
- ・講義後の試験（60問からランダムに30問）
- ・波形30例の提出（波形不良例の提出は認めないことを事前に伝える）
- ・技師については今度検討（脊椎脊髄手術のみ）
- ・更新資格；3単位
- ・上記認定医制度を秋から開始し、毎年2月に認定会議を予定

議題4，今後の症例収集について

2019年4月1日～2020年3月31日のデータを2020年4月末日（期限）までに従来のエクセルファイルに記入し提出。（2021年度のエクセルデータfileは重松委員より後に配布予定）

議題5，次回開催予定日候補について

2020年5月23日（土）7時学会会場にて開催予定

以上